



# 学校運営協議会だより

平成30年10月12日発行



## 学校運営協議会が 取り組む学校支援とは？

季節が晩夏から初秋へと移り変わり、昼間の優しい陽射しは心地よく感じますが、朝夕の冷え込みを感じる季節となりました。

さて、第3回志布志中学校学校運営協議会が10月2日(火)に実施され、授業参観を基にした意見交換と本年度の課題であった「志布志の特性(歴史、環境、産業等)についての教育活動への支援の在り方」について下記の通り熟議を行いました。

### 学校運営協議会メンバー紹介

酒匂 景一(会長)	前東区公民館長
佐藤 寛	学習塾塾長
佐藤 克寛	志新会会長
宮ヶ原 耕平	ライオンズクラブ会員
山裾 律子	民生委員 保護司
片野 美秀	元森山校区公民館長
河野 穂積	元PTA会長
日高 太	PTA会長
萩元 晴彦	志布志中学校校長
萩原 貞明	志布志中学校教頭
野間 卓	志布志中学校教諭(教務)

### 授業参観等を基にした意見交換

#### 1 学校現状報告

- (1) 体育大会で生徒が頑張りを見せてくれた。  
また、各学年の学年弁論大会の実施や文化祭に向けた取り組みを行っている。



- (2) 1学期の職員の学校評価及び保護者アンケート集計結果について説明を行う。  
また、今年度の全国学力学習状況調査について本校の分析結果と学習の基礎的・基本的事項の定着を図る授業改善について共通実践事項の説明を行う。

#### 2 授業参観を通して

- (1) 高校の体験入学に多数の参加者がいて進路への意欲を感じた。
- (2) 学力向上への取組や下学年の分からないところを補充する機会を設定するなど具体的な手立てを講じてほしい。
- (3) 学力向上や授業づくり等志布志中らしさをアピールすることも大切である。

#### 3 その他

- (1) 授業参観を行い、生徒の様子ではなく、学習環境に目が行くほど、学校が落ち着いてきている。
- (2)ロッカーの上に物を置かない等の工夫をすることで、学習環境が整っていくと思う。
- (3) 体育館正面の壁や体育館までの渡り廊下の屋根等の補修が必要と感じるので、改善へ向けて取り組んでほしい。
- (4) 台風後の時見坂の点検等うれしかった。

### 熟議: 学校支援の在り方

#### 1 学校より

- 地域の教材を活かした教育活動について熟議を進めてほしい。



#### 2 熟議を通して

- (1) 志布志の歴史、志布志の文化を知る機会を設けることも良いと思う。
- (2) 地域の人材活用として観光ガイドをされている方を講師に講演会を行うための情報提供等協力することができる。  
ア 志布志市には埋蔵文化センターや歴史民俗資料館があり、志布志市の歴史や風土を学ぶことが他の学習への学習意欲の喚起につながると思う。  
イ 志布志市には観光ガイドや歴史ガイド等人材が豊富であり、児童生徒への講話等の機会を望んでいらっしゃる。
- (3) 前回意見の出た環境、ごみの分別の在り方についての分野も検討する価値がある。  
ア 志布志市が取り組んでいるごみの分別方法並びに資源ごみの活用方法等について知ることは、今後学校生活を送る上でも意義のあることだと思う。
- (4) 他校では、学校運営協議会委員が3年生の受験へ向けての面接官を行っているところもある。



### 学校運営協議会で解決したい課題等 (熟議のテーマ案)

- 1 志布志中学校区(小学校6校区)の思いを活かすとともに志布志中学校支援体制の充実を図る運営協議会組織の在り方について検討する。

※次回、12月初旬に開催予定である。